

平成29年度 病害虫発生予察情報(美濃地域) 7月予報

【 水稲 】

いもち病 (葉いもち)

BLASTAM (アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム) によると、6月下旬から感染好適日が確認されています (表1参照)。感染好適日から、おおよそ5~10日後に発病が認められるようになります。ほ場での発生状況に十分に注意してください。

【 野菜 】

トマト 灰色かび病

6月は晴天の日が多く、下旬の調査では本病の発生は確認されませんでした。しかし、降雨や曇天が続くと、花ガラや葉先枯れ、ガク枯れなどの枯死部から本病は発生し、ハウス内に蔓延します。これらの部位をこまめに除去してください。

○主な病害虫の発生時期及び防除時期 (7月)

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項	
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬		
水稲	生育(コシヒカリ)	並				<幼穂形成始期>			・6/13 調査 (5/11 田植: 農業技術センター)	
	葉いもち	並				<発生最盛期>			・ 葉いもち 箱施薬を実施していないほ場では発生初期に本田防除を実施する。	
	紋枯病	並		<初発生>					・ 紋枯病 前年度に多発したほ場では、初発生を確認したら薬剤防除を実施する。	
	縞葉枯病	少				<発生最盛期>			・ 縞葉枯病 感受性品種では特に注意する。	
	ヒメトビウンカ	少	第2世代幼虫>		<第2世代幼虫>				・ ヒメトビウンカ 発生を確認したら薬剤防除を実施する。	
	セジロウンカ	少				<第1世代幼虫>			・ セジロウンカ 感受性品種では特に注意する。	
	斑点米カメムシ類	並						<本田侵入時期>	・ 斑点米カメムシ類 粒剤による防除は施用時期に注意する。	
	防除適期			斑点米カメムシ類: 穂ぞろい期およびその7~10日後に防除を実施する。						
カキ	生育(ハツシモ)								・6/13 調査 (6/12 田植: 農業技術センター)	
	ハマキムシ類	並	第2世代幼虫>							・幼虫発生初期の防除を徹底する。
ナシ	防除適期		▲ハマキムシ類							
	黒星病	やや多							・同一系統薬剤の連用は避ける (薬剤耐性菌の出現)。	
モモ	防除適期		~ ▲黒星病							
	ナシヒメシクイ	やや少	<第2世代幼虫>						・心折れ枝は見つけ次第剪定し除去する。	
果樹	防除適期									・農薬の使用時期に注意する。
	カメムシ類	やや少	<越冬世代・新世代成虫>							・夜間の温度や湿度が高い場合は、突発的にほ場へ飛来するため注意する。
茶	防除適期									
	生育(やぶきた:池田)	やや遅							・二番茶摘採期 6/30 (平年 6/25:池田試験地)	
岐阜 西濃	ハマキムシ類	やや少						<第3世代幼虫>	・ ハマキムシ類 発蛾最盛期から7~10日後の防除を徹底する。	
	チャノホソガ	やや少						<第3世代幼虫>	・ チャノホソガ 発蛾最盛期と萌芽~展葉期が合致すると被害が発生するため、1~2葉期に防除を実施する。	
中濃	防除適期		▲ハマキムシ類							
	生育(やぶきた:白川)	遅		<二番茶>						
濃	ハマキムシ類	やや少			<第2世代幼虫>					
	チャノホソガ	少						<第2世代成虫>		
濃	防除適期		▲ハマキムシ類							

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬	
野菜 ・ 花き	灰色かび病	やや少				<発生最盛期>			・同一系統薬剤の連用は避ける（薬剤耐性および抵抗性の発達）。 ・ 灰色かび病 枯死部位は発生源となるため取り除く。 ・ ハスモンヨトウ 発生初期の防除に努める。 ・ ハコガ 類 若齢幼虫期の防除を徹底する。
	アザミウマ類	やや少							
	ハスモンヨトウ	並							
	タバコガ類	やや少							
	ハダニ類	少							
	防除適期		～ ▲灰色かび病						

注1) ▲、▲～▲：防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

いもち病（葉いもち）

BLASTAM（アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム）

によるいもち病の発生条件

表1 2017年6月BLASTAMによるいもち病の発病条件 病害虫防除所

日付	岐阜	大垣	愛西 海津	関ヶ 原	揖斐 川	樽見 根尾	美濃	八幡	長滝 白鳥	美濃 加茂	黒川 白川	多治 見	中津 川	恵那
6/7	-	◎	-	◎	◎	◎	-	-	◎	-	-	-	-	-
6/8	◎	-	-	-	-	-	△	△	○	△	○	△	△	△
6/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	●	◎	-	●	◎
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/25	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/26	●	-	-	-	-	-	-	●	△	●	-	●	●	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●	-	●	●	◎



いもち病（葉いもち）

凡例

- △：準好適条件（湿潤時間 10 時間以上だが、前 5 日間の平均気温は 20℃未満）
- ▲：準好適条件（湿潤時間 10 時間以上だが、前 5 日間の平均気温は 25℃以上）
- ：準好適条件（湿潤時間 10 時間以上だが、湿潤時間の平均気温は 15～25℃の範囲外）
- ◎：準好適条件（湿潤時間が湿潤時間中の 1 平均気温ごとの必要な時間より短い）
- ：好適条件（湿潤時間中の平均気温が 15℃～25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前 5 日間の日平均気温の日平均気温の平均値が 20～25℃の範囲にある）
- ：好適条件、準好適条件は満たされなかった。
- 空欄：欠測値があるため判定不可能

※感染好適条件が現れると感染し、潜伏期間（おおよそ 5～10 日）を経て発病します。

ナシ黒星病

6 月下旬に実施した調査では、岐阜・西濃地域では発病葉率は 0.8%（平年 0.2%）と平年より多く確認されました。発生しているほ場内の菌密度は高いと考えられます。

幸水では開花 65～85 日後の果実肥大期が感染しやすく、最も重要な防除時期となります。本病が確認されたほ場では防除を徹底してください。

6 月～8 月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用・保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方 1 カ月予報（名古屋地方気象台 6 月 29 日発表）

向こう 1 カ月の気温は平年より高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年並または多いと予想されます。気候は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。
<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>
 〒501-1152 岐阜市又丸729 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767